

令和3年度調査研究事業

「若年層を対象とした性の多様性に関する意識」についての調査 (「LGBT及びリプロダクティブ・ヘルス/ライツ」に関するアンケート調査)

対象者：県内大学生

回答者数：35人

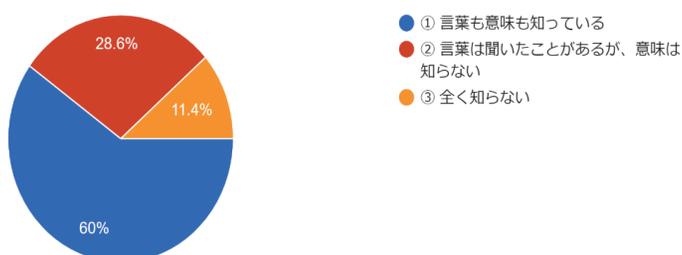
回答方法：無記名でWEB上のアンケートフォーム（Google）により実施

回答期間：令和3年10月27日～同年11月30日

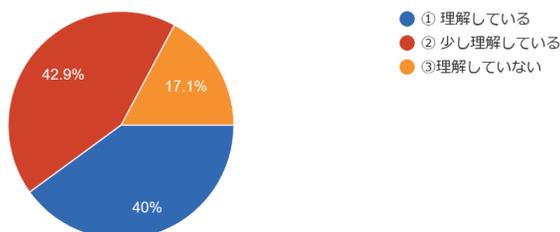
I LGBT（性的マイノリティ）について

① グラフによる調査結果1

1 LGBT(性的マイノリティ)という言葉を知っていますか。また意味を知っていますか。
35件の回答

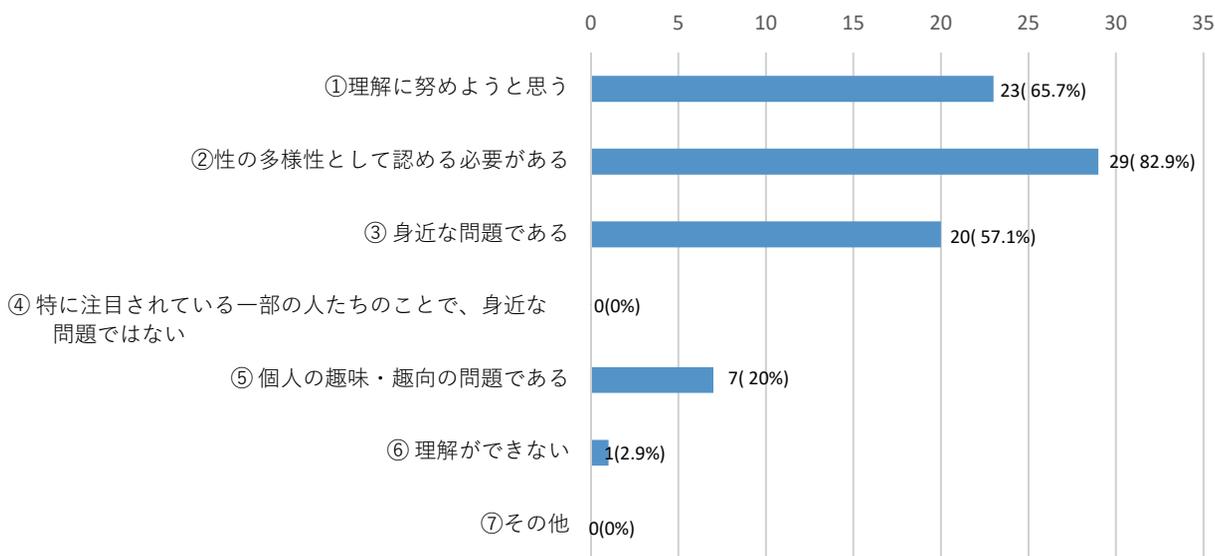


2 LGBT(性的マイノリティ)の言葉の意味を理解していますか。
35件の回答



3 LGBTについてどのような考えやイメージを持っていますか。

3つまで選んでください。 35件の回答



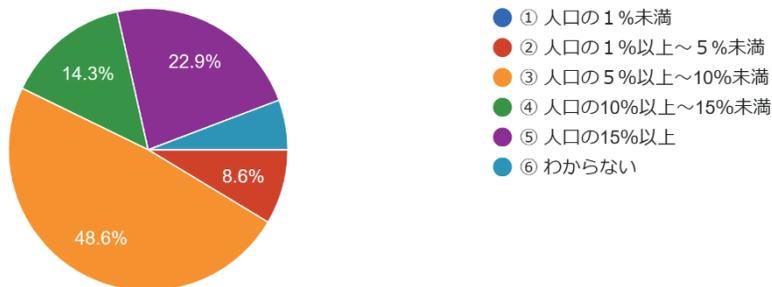
3-2 「⑦ その他」と回答した方 具体的に教えてください。→回答なし

I LGBT（性的マイノリティ）について

② グラフによる調査結果2

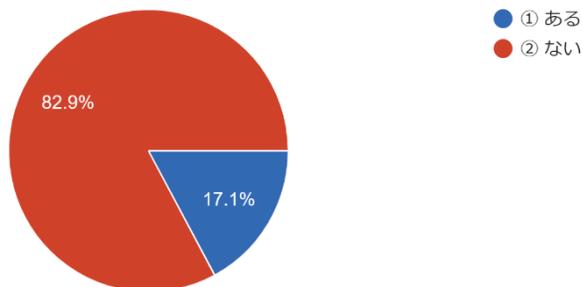
4 LGBTは全国でどれくらいいると思いますか。

35件の回答



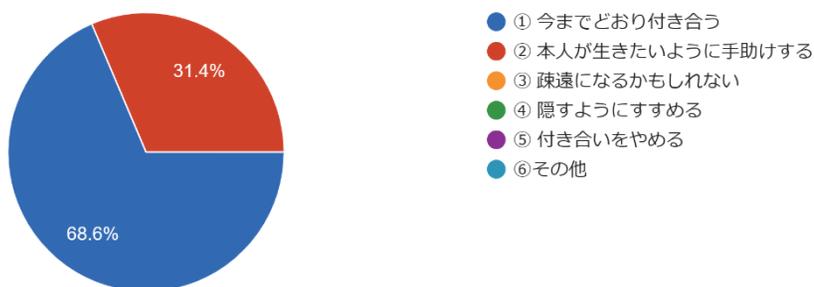
5 LGBTであることを打ち明けられた経験はありますか。

35件の回答



6 身近な人（家族、友人等）からLGBTであることを打ち明けられたら、どうしますか。

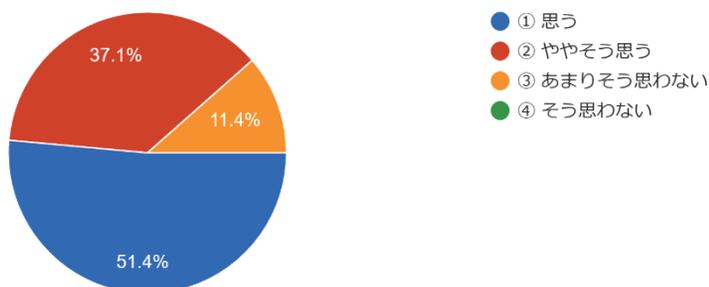
35件の回答



6-2 「⑥ その他」と回答した方 具体的に教えてください。 →回答なし

7 LGBTについて、もっと詳しく知りたいと思いますか。

35件の回答

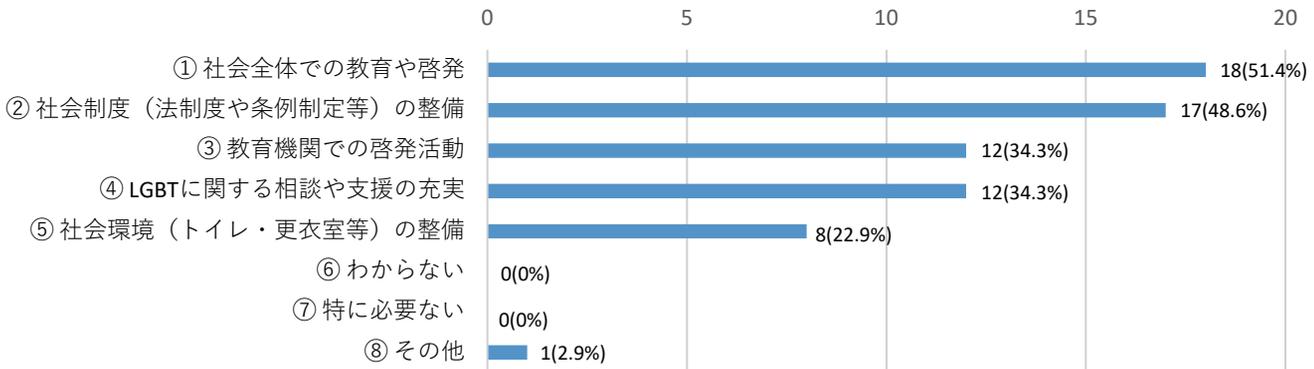


I LGBT（性的マイノリティ）について

③ グラフによる調査結果3

8 LGBTに関する人権を守るために、どのような取組が必要だと思いますか。

2つまで選んでください。 35件の回答

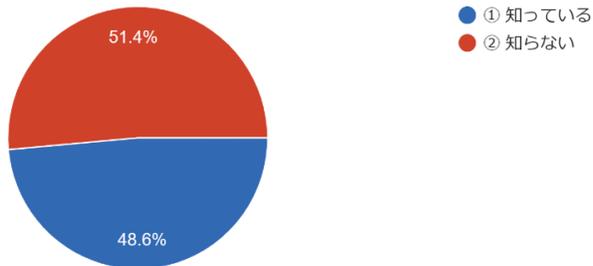


8-2 「⑧ その他」と回答した方 具体的に教えてください。 →回答1件

・そもそも人権を守るという考えでやってる時点でおかしい。

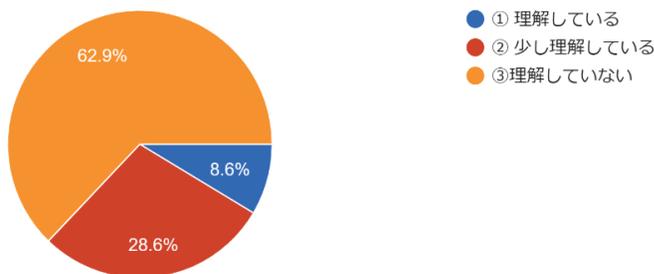
9 パートナーシップ制度という言葉は知っていますか。

35件の回答



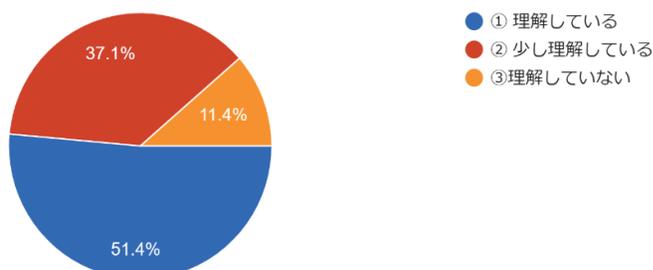
10 パートナーシップ制度の内容について理解していますか。

35件の回答



11 ジェンダーレス制服の言葉の意味を理解していますか。

35件の回答



I LGBT（性的マイノリティ）について

④ 記述回答1

12 WEBサイト「男女共同参画 WEB マガジン EPOCA」にあるLGBTQ特集の「理玖さんに聞いてみた！」アンケート結果の「中学生編」と「高校生編」をご覧ください、ご感想・ご意見をお書きください。

<p>・LGBTと言ってもその中で色々な捉え方考え方にわかれると思いました。どんな考え方もその人らしさとして認められたらと思います。</p>
<p>・カミングアウトしていない人も沢山いると分かりました。</p>
<p>・このホームページでは、普段聞けないような内容が細かく書かれているので、とても参考になりました。</p>
<p>・私には何ができるのかということばかり自問していました。もしかしたら自分の仲のいい友達がLGBTだと考えると無意識に傷つけているのかもしれないと考えています。知らないことが誰かを傷つけてしまっているのかもしれないと考えるきっかけを作ってくれたことを感謝します。</p>
<p>・LGBTについてもっと知りたいと思いました。</p>
<p>・LGBTについて中学生、高校生に理解を深めるためにこのようなアンケートは大事だと思った。LGBTの人が受け入れられる世の中になればいいと思った。</p>
<p>・制服というものは差別をするものとしての代表だなと感じました。スカートというものは男性が履くことが少ないです。最近はいている人をたまに見かけますがいいように思われません。こういうものがあるのは可哀想だなと思いました。</p>
<p>・中学生という思春期真っ只中の期間で自分自身のアイデンティティを確立し、高校という新たな場所で自分にあった生き方をしている事が凄いなと思った。行動力があるが、これには親や周りの理解、助けが必要だと感じた。</p>
<p>・女性として生まれ、男性として生きたかったのに、中学はセーラー服への抵抗からか不登校になってしまっていたけれど、高校からは男子高校生として過ごせていたことがすごいと思った。大きな手術もしており、現在はそういった人の支援などを知ってすごいと思った。</p>
<p>・会話型でかかれていて、自分も会話に参加しているみたいで読みやすかった。</p>
<p>・性別の分類が2種類だけでなくもっと増えればいいなと思う。</p>
<p>・わかりやすいと思う。</p>
<p>・自分にとっては当たり前のことでも性の感覚の違いによって違和感を持ちながら生活することになるのが心苦しいと思った。</p>
<p>・理玖さんは、私にはない考え方をもちで、視野が広がりました。</p>
<p>・LGBTQのような確定しない人も左利きの人のように多くの人がいる。友人にもいた場合その人の求めていることを聞いて支えていきたい。</p>

1 LGBT（性的マイノリティ）について

⑤ 記述回答2

12 WEBサイト「男女共同参画WEBマガジンEPOCA」にあるLGBTQ特集の「理玖さんに聞いてみた！」アンケート結果の「中学生編」と「高校生編」をご覧ください、ご感想・ご意見をお書きください。

<p>・日本に同性婚が認められていない現状が世界から遅れを取っていることが容易にわかる。また、自分の身近にも「自分はLGBTQに当てはまるかもしれない」と悩んでいる人がいる可能性があること改めて実感した。LGBTQの人たちがいることも普通であるといえるような世の中になるように、日本はもっとこれらに対して対策を進めるべきだと思う。</p>
<p>・今の日本は、生きづらい世の中だろうと実感した。</p>
<p>・性別適合手術を受ける前日に泣いてまでその手術を受けたということは、自分を受け入れてもらいたいという気持ちが強かったのではないかと感じた。</p>
<p>・人それぞれ。</p>
<p>・偏見を持たずに接していく方が大切であり、その人が特別だと思わないようにしていくべきである。それによる差別がなくなるような体制をつくる必要があると思った。</p>
<p>・境界線があやふやで、質問者様はもやもやするかもしれませんが、社会が強制的に枠組みやその種類を決めてしまうよりグレーなくらいが丁度いいと感じた。</p>
<p>・今はインスタグラムなどでも元々は女性だった男性の方などの動画や投稿もあり、以前よりLGBTQが身近に感じています。高校生の時にも講演会を聴いたことがあり、このアンケート結果も含め、周りの環境や理解が必要かつ重要であると再認識しました。</p>
<p>・まだまだLGBTQに対する理解は薄く、彼らにとっては過ごしにくい環境であると感じた。だから、もし身近にそういった人がいたら否定せず、積極的に味方の一人となることがとても重要だと思う。</p>
<p>・LGBTQのことを多くの人が理解し、該当する方々がもっと生活しやすい世の中になればいいなと思いました。</p>
<p>・自分が知らなかったことについて知れて良かったです。</p>
<p>・最近では以前よりもLGBTに関することをテレビで見る機会が多くなった。静岡県でも様々な取り組みがされていることを知れた。</p>
<p>・まず、性について恥ずかしい、言いづらいとってしまう環境が問題だと思います。LGBTQの方も、そうでない人も簡単なことではないけれど、全員が性についてオープンになれるような環境を作る必要があると思いました。そのためには、今まで学校の授業で少し触れるくらいであったため、先生自身の知識を深めたり、学外の先生などと呼んだりしてでも教育をするべきであると思いました。また、より早い段階(遅くても小学校低学年ぐらい)からの教育、男女でクラスを分けるのではなく、一緒に教育することが必要であると考えます。</p>
<p>・こういう記事が出ること自体が、まだ社会が問題として扱っているのかなという印象。</p>
<p>・ジェンダーの問題で苦しんでいる人がいることを改めて実感した。その人たちが苦痛を感じることなく生活できるよう社会の取り組みが必要だと思う。</p>
<p>・LGBTについての知識をより深めて多くの人を知っていくべき問題だと思う。</p>

・高校生編のLGBTQに関する質問の中での、100人いれば、100通りのセクシュアリティがあるという理玖さんの言葉が印象に残りました。性別が男性なのか女性なのかは関係なく、個性と捉えれば、みんな同じ人間に変わりないと感じました。だからこそ、中学生編にもあったようにLGBTQの方たちの味方であることが必要だと思いました。

・LGBTと聞くと勝手なイメージや偏見でその人たちを見てしまったり自然と差別してしまったりすることが多いと思う。しかし、その人らしい生活を送っていくためにも多様性を受け入れ、さまざまな制度や教育体制を整えていくべきだと思った。

・とてもタメになった。

・制服や、トイレ、部活など男女関係なく選べれば良いと思います。

・どの質問にもしっかりと返事をしており、丁寧な回答がとても良いと感じました。日本ではあまり性について話を聞く機会はありませんが、意外と悩んでいる人は多いのではないかと思います。理玖さんの活動のおかげで、自分の個性だと胸を張って言える社会に近づけるよう応援したいと感じました。

I LGBT（性的マイノリティ）について

⑥ 当事者に聞いてみたい疑問等（自由記述）

13 LGBT 当事者の方への疑問や聞いてみたいことがあれば、自由にお書きください。（内容により後藤理玖さんに回答していただく予定です） →回答 5 件

・当事者として周りの違いや生活しにくさを感じる頻度はどれくらいですか。カミングアウト後LGBTQではない人に配慮してほしいことは何かありますか。また、やってほしいことなどがあれば教えてほしいです。

・恋愛などではどのような人と出会いますか。

・手術を受けると決断した時の心情が知りたいです。

・手術の内容はどのようなものですか？ホルモンなどの分泌物なども気になります。

・東京オリンピックに元男性の選手が、女性の種目に出場されました。私は、やはり体格の差が出てしまうのではないかと思うのですが、多様性としては素晴らしいことだと思います。LGBTの方はこのことについてどう考えますか？

★後藤理玖さんによる回答は〈男女共同参画 WEB マガジン EPOCA〉に掲載

→https://azarea-epoca.jp/rikusan_university1.html

⑦「RainbowDooR しずおか」後藤理玖さんより、当アンケート調査について所感を寄せていただきました。

性的少数者にとって、中学高校時代は様々な葛藤に直面する時期でもあります。今回、中学生、高校生に向けてお話をさせていただくにあたって、この中にいるであろう当事者の生徒さんが、自分自身を肯定し、将来に希望を持つことができるようなメッセージを伝えたいと考えてお話しさせていただきました。人と違うことは個性でもあります。一方でコンプレックスになってしまうことがあります。私自身も中学校時代に、自分はみんなとは違うんだ、「普通」とは違うんだと自己否定してしまった経験があります。このことは性的少数者だけでなく、身体的特徴や障害、家庭環境、人種や国籍など、あらゆるマイノリティにも共通する悩みかもしれません。

自分が何者なのかを意識しはじめる中学高校という時期には、一日の大半の時間を過ごす学校という場所が、他の「普通」の同級生と比較をしてしまう、居心地の悪い場所になることもあります。だからこそ学校は、一人ひとりの多様性を尊重しあえる場所、誰もが自分らしく過ごせる場所になってほしいと願っています。

今回、大学生の皆さんからも、当事者の生徒の気持ちを想像した感想を寄せていただき、そう考えてもらえる人が増えていけば、社会全体が誰にとっても生きやすい場所になっていくのではないかという希望を感じました。

当然、大学にも当事者の学生はいるでしょうし、当事者サークルの活動も多くの大学で行われています。当事者やその理解者が声をあげて、問題を解決していくことはとても重要です。一方で、様々な事情で当事者であることをオープンにできない人も数多くいると思います。私は必ずしも、当事者がオープンにするべきだとは思いません。カミングアウトするしないは、あくまでも本人の意思で決めるべきです。大切なのは、オープンにしていない当事者が身近にいるかもしれないという想像力を周りが持つことだと思っています。そしてその理解者の存在は、当事者にとって何よりも心強い存在になると思います。今回アンケートにご協力いただいた大学生の皆さんにも、ぜひ身近なところから一緒に取り組んでいただけたら嬉しいです。

「RainbowDooR しずおか」

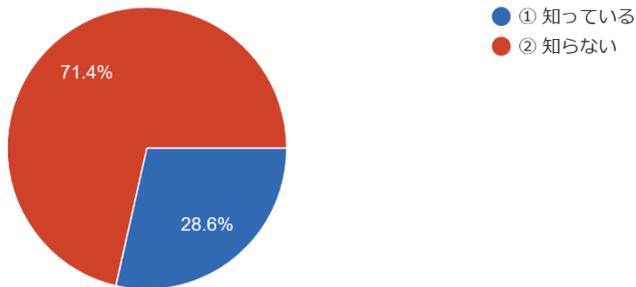
静岡県東部（沼津市）を中心に、セクシュアリティに悩む当事者が、身近で気軽にアクセスできる活動に取り組む。

活動内容は居場所づくり事業、相談事業、啓発・研修活動。

II リプロダクティブ・ヘルス/ライツについて グラフによる調査結果および自由記述回答

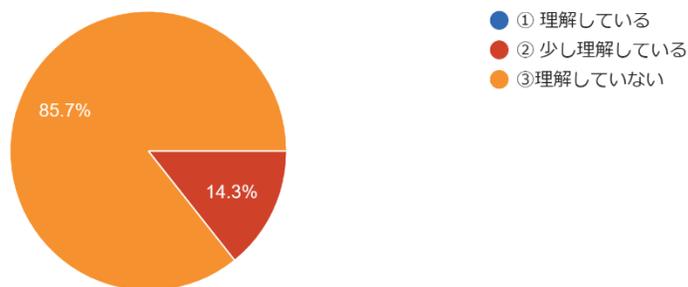
1 リプロダクティブ・ヘルス/ライツという言葉は知っていますか。

35件の回答



2 リプロダクティブ・ヘルス/ライツの言葉の意味を理解していますか。

35件の回答



3 「理解している・少し理解している」と回答された方は、リプロダクティブ・ヘルス/ライツへの理解を深めるために、どのような取組をすればいいと考えますか。自由にお書きください。→回答2件

- | |
|--|
| ・ 男女が性に関して正しく理解するために、早い段階から性教育をする必要があると思う。 |
| ・ 講義を行う。 |